

第5 公営企業の業務の状況

1 電気事業

(1) 令和2年度予算及び経営状況

年間総販売電力量を1億6,400万キロワットアワーと見込み、これを基に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、電気事業収益18億6,637万1千円、電気事業費用16億6,115万1千円を見込んでいます。

また、資本的収支については、資本的収入7,602万3千円、資本的支出23億3,874万6千円を計上し、資源の有効利用と販売電力量の増加を図るため、新たな電源開発となる平瀬発電所の建設を着実に推進します。併せて、既設水力発電所の設備更新に合わせたリパワリング（水車ランナの改造等による出力向上）を計画的に推進する取り組みとして、菅野発電所、生見川発電所の最大出力試験を実施し、新たに佐波川発電所、徳山発電所及び新阿武川発電所に係る供給力増強調査を実施します。

なお、水力発電の経営は、気象条件に左右されるので、貯留水の効率的運用を図ることはもちろん、気象状況の早期把握、関係機関との密接な連携などを図り、販売電力量の確保による収入の増加と経費の効率的執行により経営の安定化に努めます。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第11表 令和2年度電気事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	令 和 2 年 度 (A)	令 和 元 年 度 (B)	増 減 (A)－(B)
年 間 総 販 売 電 力 量	163,772 MWH	156,142 MWH	7,630 MWH

第12表 令和2年度電気事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	令和2年度 当初予算額(A)	令和元年度 当初予算額(B)	比 較 (A)-(B)	(A)／(B)
収益的収入				
電気事業収益	1,866,371	1,761,516	104,855	106.0
営業収益	1,829,196	1,708,243	120,953	107.1
附帯事業収益	26,172	27,751	△ 1,579	94.3
財務収益	972	3,017	△ 2,045	32.2
事業外収益	10,028	22,502	△ 12,474	44.6
特別利益	3	3	0	100.0
収益的支出				
電気事業費用	1,661,151	1,581,727	79,424	105.0
営業費用	1,585,602	1,542,745	42,857	102.8
附帯事業費用	22,944	23,890	△ 946	96.0
財務費用	6,441	10,925	△ 4,484	59.0
事業外費用	43,161	1,164	41,997	3,708.0
特別損失	3	3	0	100.0
予備費	3,000	3,000	0	100.0
資本的収入				
資本的収入	76,023	1,331,253	△ 1,255,230	5.7
資本剰余金	70,388	31,250	39,138	225.2
固定資産収入	1	1,300,001	△ 1,300,000	0.0
雑収入	5,634	2	5,632	281,700.0
資本的支出				
資本的支出	2,338,746	2,214,475	124,271	105.6
建設費用	315,000	97,000	218,000	324.7
改良費用	491,497	870,596	△ 379,099	56.5
投資	1	1	0	100.0
償還金	129,148	143,778	△ 14,630	89.8
長期貸付金	1,400,000	1,100,000	300,000	127.3
補助金返還金	100	100	0	100.0
予備費	3,000	3,000	0	100.0

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額22億6,272万3千円は、内部留保資金（損益勘定留保資金、減債積立金及び資本的収支調整額）で補てんします。

(2) 令和元年度下半期の業務の概要

令和元年度は、年間を通じた降雨量が、県下主要ダム（電気事業関連）地点で平年の93%と平年を下回るとともに、菅野発電所の水車発電機改修工事等の影響もあり、令和元年度の販売電力量は目標に対して75.8%、電力料金収入は目標に対して95.3%となりました。

また、最終の2月補正では、収益的収入予算においては、電力料金収入の減などにより3,954万3千円の減額補正を、収益的支出予算においては、修繕費の増などにより4,433万5千円の増額補正を、それぞれ行いました。

この結果、最終予算は、収益的収入において17億2,197万3千円、収益的支出において16億2,864万2千円、資本的収入において13億4,879万8千円、資本的支出において20億6,505万3千円となりました。

また、新たな電源開発となる平瀬発電所の建設事業を引き続き実施するとともに、既存水力発電の設備更新に合わせたリパワリングを計画的に推進する取り組みとして、菅野発電所及び生見川発電所に係る、水車ランナの製作及びオーバーホールの実施に合わせた取替を実施しました。

第13表 企業債及び一時借入金の状況(電気事業)

区 分	発 行 総 額	償 還 額		令 和 元 年 度 末 現 在 高
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	2,249,000	143,777	1,962,227	286,773
錦 川 水 系 発 電 所	1,307,000	82,975	1,155,116	151,884
佐 波 川 発 電 所	210,000	12,998	168,691	41,309
木 屋 川 発 電 所	152,000	10,037	136,737	15,263
新 阿 武 川 発 電 所	140,000	7,628	100,281	39,719
末 武 川 発 電 所	440,000	30,139	401,402	38,598
一 時 借 入 金	0	0	0	0

2 工業用水道事業

(1) 令和2年度予算及び経営状況

年間総給水量を5億7,100万 m^3 と見込み、これを基に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、工業用水道事業収益71億4,541万6千円、工業用水道事業費用65億9,852万9千円を見込んでいます。

また、資本的収支については、資本的収入16億2,239万8千円、資本的支出45億2,896万9千円を計上し、企業債13億2,190万1千円を償還するほか、工業用水の安定した供給に資するため、改良事業として木屋川工業用水道二条化事業などを引き続き実施します。

さらに、新規受水企業や契約水量を増やす企業に対して、引込管設置等の初期費用の支援など需要開拓を図る諸施策に引き続き取り組み、工業用水道事業の経営基盤強化に努めます。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第14表 令和2年度工業用水道事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	令 和 2 年 度 (A)	令 和 元 年 度 (B)	増 減 (A)-(B)
年 間 総 給 水 量	570,748,550 m^3	564,001,560 m^3	6,746,990 m^3

第15表 令和2年度工業用水道事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	令和2年度 当初予算額(A)	令和元年度 当初予算額(B)	比 較 (A)－(B)	(A)／(B)
収益的収入				
工業用水道事業収益	7,145,416	7,010,483	134,933	101.9
営業収益	6,662,088	6,418,069	244,019	103.8
営業外収益	483,325	592,411	△ 109,086	81.6
特別利益	3	3	0	100.0
収益的支出				
工業用水道事業費用	6,598,529	6,157,996	440,533	107.2
営業費用	6,273,340	5,891,296	382,044	106.5
営業外費用	315,186	256,697	58,489	122.8
特別損失	3	3	0	100.0
予備費	10,000	10,000	0	100.0
資本的収入				
資本的収入	1,622,398	2,312,919	△ 690,521	70.1
企業債	1,320,000	1,390,000	△ 70,000	95.0
資本剰余金	109,231	302,945	△ 193,714	36.1
固定資産収入	1	400,001	△ 400,000	0.0
雑収入	193,166	219,973	△ 26,807	87.8
資本的支出				
資本的支出	4,528,969	6,374,855	△ 1,845,886	71.0
建設費	0	1,204,755	△ 1,204,755	-
改良費	3,197,067	3,768,250	△ 571,183	84.8
投資	1	1	0	100.0
償還金	1,321,901	1,391,849	△ 69,948	95.0
予備費	10,000	10,000	0	100.0

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額29億657万1千円は、内部留保資金(損益勘定留保資金及び資本的収支調整額)で補てんします。

(2) 令和元年度下半期の業務の概要

令和元年度は、一部地域で渇水に伴う自主節水が行われましたが、安定的に給水することができました。

また、さらなる工業用水の安定供給に資するため、島田川工業用水道建設事業などを実施するとともに、需要の開拓、企業債残高の縮減などの経営基盤の強化に取り組みました。

最終の2月補正では、収益的収入予算においては、営業外収益の減少などにより551万4千円の減額補正を、収益的支出予算においては、営業費用の減少などにより1億5,211万7千円の減額補正を、それぞれ行いました。また、資本的収入予算においては、負担金の増加などにより2億4,376万9千円の増額補正を、資本的支出予算においては、改良費の減少などにより4億4,859万円の減額補正を、それぞれ行いました。

この結果、最終予算は、収益的収入において70億496万9千円、収益的支出において60億1,055万円、資本的収入において25億5,668万8千円、資本的支出において59億2,626万5千円となりました。

第16表 企業債及び一時借入金の状況(工業用水道事業)

区 分	発 行 総 額	償 還 額		令 和 元 年 度 末 現 在 高
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	31,378,900	1,392,597	14,604,824	16,774,076
小瀬川工業用水道	1,390,000	80,182	902,007	487,993
向道・川上工業用水道	714,000	37,260	426,396	287,604
周南工業用水道	9,870,000	467,329	4,763,251	5,106,749
佐波川工業用水道	521,000	22,211	148,550	372,450
厚東川工業用水道	5,851,000	242,883	2,499,561	3,351,439
木屋川工業用水道	3,702,000	120,000	1,396,824	2,305,176
富田夜市川工業用水道	1,279,000	71,898	434,325	844,675
厚東川第2期工業用水道	2,448,000	91,207	918,186	1,529,814
厚狭川工業用水道	2,894,900	107,767	1,046,020	1,848,880
木屋川第2期工業用水道	55,000	3,557	51,433	3,567
末武川工業用水道	129,000	9,071	125,595	3,405
佐波川第2期工業用水道	68,000	7,592	66,047	1,953
小瀬川第2期工業用水道	2,457,000	131,640	1,826,629	630,371
一 時 借 入 金	0	0	0	0

3 流域下水道事業

(1) 令和2年度予算及び経営状況

流域下水道事業は令和2年度から公営企業会計に移行しています。

年間総処理水量を909万 m^3 と見込み、これを基に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、流域下水道事業収益18億1,442万7千円、流域下水道事業費用18億1,442万7千円を見込んでいます。

また、資本的収支については、資本的収入9億3,650万5千円、資本的支出9億3,650万5千円を計上し、汚泥処理施設などの施設の整備や企業債の償還を行います。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第17表 令和2年度流域下水道事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	令 和 2 年 度 (A)	令 和 元 年 度 (B)	増 減 (A)-(B)
年 間 総 処 理 水 量	9,087,247 m^3	—	9,087,247 m^3

第18表 令和2年度流域下水道事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	令和2年度 当初予算額(A)	令和元年度 当初予算額(B)	比 較 (A)-(B)	(A)/(B)
収益的収入				
流域下水道事業収益	1,814,427	—	1,814,427	—
営業収益	677,304	—	677,304	—
営業外収益	1,137,123	—	1,137,123	—
収益的支出				
流域下水道事業費用	1,814,427	—	1,814,427	—
営業費用	1,755,518	—	1,755,518	—
営業外費用	52,921	—	52,921	—
特別損失	5,988	—	5,988	—
資本的収入				
資本的収入	936,505	—	936,505	—
企業債	252,000	—	252,000	—
国庫支出金	364,700	—	364,700	—
負担金	319,805	—	319,805	—
資本的支出				
資本的支出	936,505	—	936,505	—
建設改良費	605,648	—	605,648	—
償還金	330,857	—	330,857	—

(2) 企業債及び一時借入金の状況

流域下水道事業特別会計から引き継いだ、令和2年4月1日時点の企業債及び一時借入金の状況は次の表のとおりです。

第19表 企業債及び一時借入金の状況(流域下水道事業)

(令和2年4月1日)

(単位 千円)

区 分	発行総額	償 還 額		令和2年度期首 現在高
		令和元年度償還額	償還額累計	
企 業 債	16,201,682	310,441	13,467,049	2,734,633
一 時 借 入 金	0	0	0	0